

# 越後の匠の家とは？

私たち「越後の匠の家普及協議会」は、新潟に相応しい住まい「越後の匠の家」の開発普及を図ることを目的とした組織で、県内の大工・工務店の有志56社で構成されています。

「越後の匠の家」の開発のために地域設計者と協働で、新潟県内7地域14戸の集落・民家調査を行い、その後に開催したワークショップを通して「住まいづくり8つのコンセプト」と「住まいづくり40のルール」をつくりました。これらの成果にもとづいて「越後の匠の家」を提案いたします。

「越後の匠の家」は伝統工法を活かし、県産材を活用し、新潟の気候風土に適した持続可能な住まいです。さらに「長期優良住宅」や自然エネルギーを有効活用する「自立循環型住宅」を基本として、新潟県民に愛され、永く住み続けられる住まいづくりを行ってまいります。

# 越後の匠の家

県産材を活用し、伝統的工法を活かした持続可能な長期優良住宅

「温故知新」住まいの原型をめざして



「越後の匠の家」に関するお問合せ先  
社団法人 新潟県建築組合連合会内  
**越後の匠の家普及協議会**  
〒951-8133 新潟県新潟市中央区川岸町3-17-2  
TEL : 025-231-2251 FAX : 025-231-2252  
e-mail : kenren@nigata-kenren.jp  
※無断転載・転写を禁じます

ver. 1.0

越後の匠の家普及協議会

# 越後の匠の家がめざす家づくり

- 軒や庇をしっかり出して建物を守りましょう
- 外装は自然素材の色・落ち着いた色にしましょう
- 外壁は景観と耐久性を踏まえ、板張と塗壁を基本としましょう

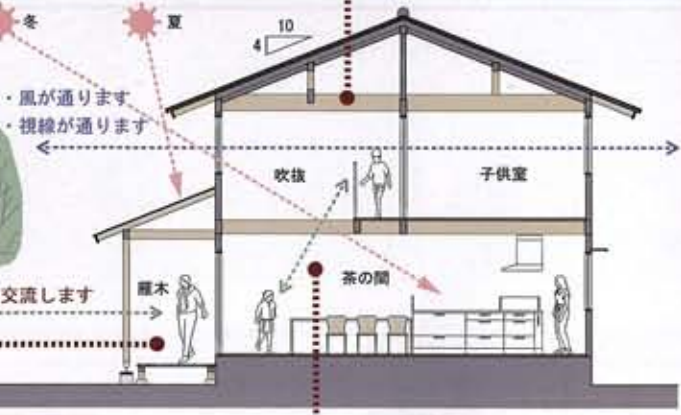


- 美しい木組みを活かし、柱や梁を現しにしましょう
- 軸組みは2間隔の田の字プランを基本としましょう
- 地場の材料を使用しましょう



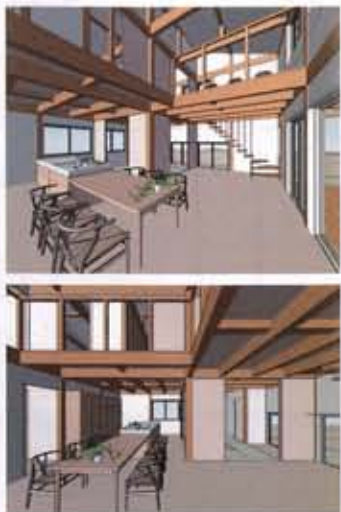
- 屋外には積極的に植栽を施しましょう
- 夏の陽射しを遮る落葉樹を活用しましょう

夏は屋内への直射日光の進入を雁木と2階屋根で防ぎます  
冬は屋内の奥まで光を取り込みます



- 近所付き合いに活用できる雁木や通り土間を設けましょう
- 降雪時に活用できる半屋外の空間を確保しましょう
- 降雪量の多い地域では雪囲いの工夫をしましょう

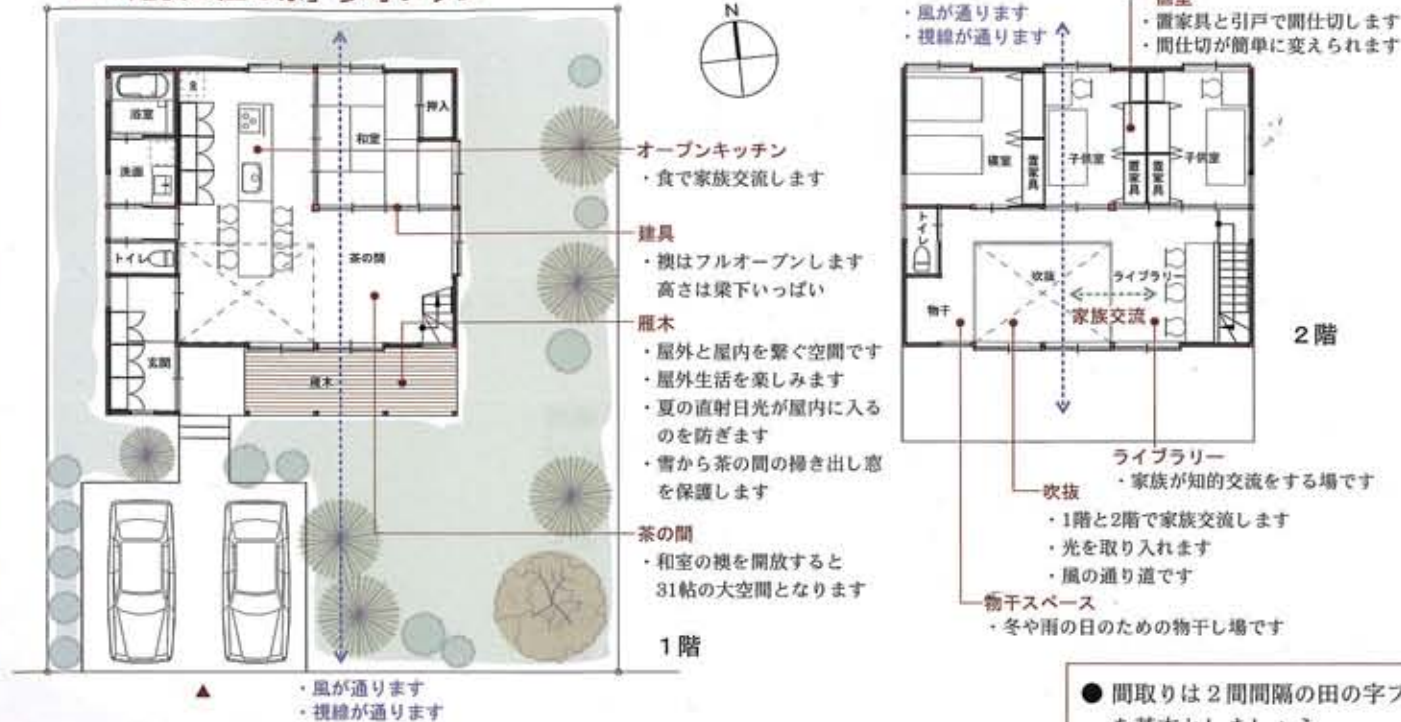
- 茶の間は日当たりの良い南側にしましょう
- 茶の間は吹抜や高窓などにより採光の工夫をしましょう
- 家族の気配がお互いに感じられる間取りにしましょう
- 屋内は真壁とし、内装材は自然素材を基本としましょう



## 「越後の匠の家」住まいづくりのための8つのポイント

- |                               |                           |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1 地球資源の循環型社会を目指した住まい          | 5 越後の匠の技を活かし、素材を大切にしたい住まい |
| 2 越後の気候風土（風・光・雪）に配慮した住まい      | 6 シンプルで美しい架構を持つ住まい        |
| 3 越後らしいまち並みと落ち着きのある外観に配慮した住まい | 7 永く住み続けることのできる住まい        |
| 4 家族のふれあいを育み、近所づきあいを大切にしたい住まい | 8 建設コストに配慮した住まい           |

## 「越後の匠の家」参考プラン



## 大黒柱のある家

- 間取りは2間隔の田の字プランを基本としましょう
- 風通しの良い間取りにしましょう
- 将来の間取り変更に対応する工夫をしましょう
- 徐々に住まいを成長させる「空木建て」を提案します
- 長期優良住宅を基本としましょう
- 自立循環型住宅を基本としましょう



## 通り土間のある家

